

新たな可能性への挑戦！！

非常用地上バッテリー装置を使用した車両走行実験を行います

平成 26 年 1 月開始予定

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、震災等の影響により停電が発生したときに、駅間や長大橋梁に停止した列車が最寄り駅まで自力で走行するための非常用走行バッテリーの研究を進めておりますが、株式会社日立製作所と協力し、平成 26 年 1 月を目途に「非常用地上バッテリー装置」を用いた車両の走行実験を新たに開始いたします。

現在、震災等により駅間に列車が停止した場合、安全を確認した上で最寄り駅まで走行し、お客様に駅で降りていただくことを基本としていますが、停電が発生し列車が走行できなくなった場合には、駅員が救援に向かいお客様の安全を確保し、線路内を歩いて避難していただいております。

非常用地上バッテリー装置は駅・駅間等に設置するもので、通常時は回生電力を吸収して蓄えた電力で加速列車をアシストすることで省電力化に貢献しつつ、非常時は電車線に電力を供給することで、駅間や長大橋梁に停止した列車を停電時でも最寄り駅まで自力で走行させることが可能となります。また、車両に関わらず効果を発揮できる利点があります。

お客様に安全かつ迅速に避難いただくため、この走行実験により性能の検証を行い、既に実験を行っております非常用車上バッテリー装置とともに導入の可能性について検討してまいります。

